

議案第 66 号 令和 7 年度いなべ市一般会計補正予算（第 4 号）に対する附帯決議について

議案第 66 号 令和 7 年度いなべ市一般会計補正予算（第 4 号）に対する附帯決議を別紙のとおり提出する。

令和 7 年 12 月 22 日提出

提出者 いなべ市議会議員 位田まさ子
賛成者 いなべ市議会議員 伊藤 智子

理由

令和 7 年度いなべ市一般会計補正予算（第 4 号）のうち第 3 表 債務負担行為補正（追加）に計上された「笠間こども園再建事業（設計業務）」について、別紙のとおり附帯決議しようとする。

議案第66号 令和7年度いなべ市一般会計補正予算（第4号）に対する
附帯決議案

令和7年第3回定例会において、「笠間こども園再建事業（用地取得）」として旧大安中央児童センター周辺の土地約19,000㎡のうち約12,000㎡の用地を取得するため予算計上された。この時点で、笠間こども園の新園舎を当該地で整備する意義、計画を明確に説明された上で、議会は土地造成の技術的対策、環境・衛生面への配慮、交通安全対策、河川氾濫への備え、住民への説明責任、事業の透明性の確保の6点についての意見を付して、全会一致で可決するものと議決した。

また、笠間こども園は、令和4年5月の火災により園舎を焼失して以降、新園舎の再建に関する議論の中で、地元住民の多くが旧園舎跡に新園舎整備を望む中、市長にその計画はなく、当該地に新園舎を整備しない理由についても明確に示されてきた。

このような状況の中、今定例会の一般質問において、市長はこれまでの方針を大きく転換し、旧園舎跡（現仮設園舎敷地）への新園舎整備の意向を示された。このため、並行して審議する令和7年度いなべ市一般会計補正予算（第4号）、第3表 債務負担行為補正（追加）で計上された「笠間こども園再建事業（設計業務）」は、令和10年度まで期間を要するもので、審議の過程で議会は大変厳しい判断を迫られることとなった。

既に仮設園舎での運営が3年を経過しており、一刻も早い新園舎の建設及び開園が強く求められていることから、新園舎整備を停滞させることはできないため、下記事項に十分留意されることを強く求める。

記

- 1 希望園に入所できない児童の早期解消及び止まることのない資材の物価高騰が新園舎整備に及ぼす影響を鑑み、笠間こども園再建事業については、早期に建設及び開園できるよう努めること。
- 2 本事業の方向性及び計画が短期間で変更している現状を鑑み、市民の混乱を招かないためにも、議会に対し適時適切に説明を行うこと。

令和7年12月22日

いなべ市議会